

JICA 海外協力隊の帰国 と活動報告会を実施



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



一時帰国を経て再渡航し、2年の任期を終える6名の隊員

4月6日、2019年4月から派遣されていたJICA海外協力隊員6名の帰国報告会を実施しました。北はソラ省から南はアンザン省まで5つの市・省に派遣され、職種は作業療法士、理学療法士、障害児・者支援、看護師、観光と多岐にわたります。

2020年3月から、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で日本に一時帰国していましたが、

2020年の末にかけ再渡航し無事2年の任期を終えることができました。

オンラインで行われた報告会には日本からも多くの参加があり、隊員たちは『My Life in Vietnam & Future』をテーマに、ベトナムでの生活と仕事、また未来への抱負についてプレゼンテーションを行いました。

【巻頭】

- ・ JICA 海外協力隊の帰国と活動報告会を実施

【成長と競争力強化】

- ・ JICA が協力する日越大学が日本企業と企業連携講座に関する協定書を締結
- ・ 「ダナン市リエンチュウ港区開発に係る情報収集・確認調査」の最終報告ワークショップを開催
- ・ ベトナム労働生産性に関するワークショップを開催

【脆弱性への対応】

- ・ 新型コロナウイルスによる感染症対策支援：フエ中央病院への医療機材引渡し式を実施

目次

1	・ ビンズオン省浄水場の拡張整備を支援し、増加する水需要へ対応	4
2	・ 「フロン類等管理に関する国際的経験共有のためのワークショップ」を開催	5
3		
	【その他】	
3	・ ベトナム国立ハノイ医科大学付属病院とグランソール奈良が「オンライン診療」の提携にかかる覚書を締結	5
4	・ 共産青年同盟中央執行委員会の「若い世代のため」記章を受章	6

期待あふれるベトナム赴任から、突然の帰国による不安な日々、再赴任した際の同僚との再会の喜びなど悲喜こもごも、ベトナム愛溢れる報告会になり参加者の大きな感動を誘いました。

協力隊後のキャリアは、日本国内のみならずベトナムでの就職が決まった隊員もあり、今後の活躍が期待されます。

帰国隊員のインタビューは、こちらからもご覧頂けます。(NHK オンデマンドで紹介されています)

https://www.facebook.com/jicavietnam/posts/2949395055349426?_tn=-R



オンラインでエールを送りました

成長と競争力強化

JICA が協力する日越大学が日本企業と企業連携講座に関する協定書を締結



左から、ベトナム日本国大使館山田大使、三谷産業株式会社三谷取締役会長、日越大学古田学長、株式会社小金井精機製作所鴨下社長、JICA 萱島信子理事

4月8日、JICAが協力する日越大学(VJU)は、三谷産業株式会社及び株式会社小金井精機製作所と企業連携講座に関する協定書を締結しました。協定締結式は、JICA本部にて、萱島信子JICA理事立会いのもと、日越大学の古田元夫学長、三谷産業の三谷充会長、小金井精機の鴨下祐介社長との間で行われました。

今回の連携協定によって実施される日本企業との連携講座は、日越大学にとって初めての試みとなります。本連携講座は、「日本型ものづくり」をキーワードに、日本における製造業の発展の歴史や企業での「ものづくり」の具体的実践事例を伝えることにより、グローバルな視野で日本のものづくりを捉え、ベトナムのみならず日本においても活躍できる人材の育成を目的としたものです。27年前からベトナムで事業を展開する三谷産業と、ベトナム人技術者とともに日本のものづくりに長年携わってきた小金井精機が持つ幅広い知見とネットワークを活かした連携講座は、ベトナムの人材育成に大きく貢献するとともに、産学連携の優良事例となることが期待されています。

日越大学は、日本及びベトナムだけでなく、世界にも開かれた大学としてグローバルに活躍できる人材を輩出するとのビジョンのもと、JICAの協力により2016年に開学しました。これまでに修士課程8プログラム、学士課程1プログラムを開設しています。ベトナムに関心のある、またはベトナムに拠点を持つ日本企業と、インターンシップや就職支援を通じて連携を積極的に進めており、卒業生の約2割は日系含む日本企業で活躍しています。

日越大学が日越両国の懸け橋となる人材を輩出し、両国の産業界から益々期待される大学へと発展するよう、JICAは今後も日越大学の魅力ある大学づくりに協力していきます。

JICA ニュースリリース :

https://www.jica.go.jp/press/2021/20210409_21

日越大学 ニュースリリース :

http://vju.vnu.edu.vn/images/upload_file/210408_%E6%97%A5%E8%B6%8A%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%84%E3%81%A6%E4%BC%81%E6%A5%AD%E9%80%A3%E6%90%BA%E8%AC%9B%E5%BA%A7%E5%8D%94%E5%AE%9A%E6%9B%B8%E7%BD%B2%E5%90%8D%E5%BC%8F%E3%82%92%E9%96%8B%E5%82%AC_1617960619.pdf



「ダナン市リエンチュウ港区開発に係る 情報収集・確認調査」に関するワークショップを開催



ワークショップの様子

4月13日、ダナン市にて、ダナン市人民委員会とJICA ベトナム事務所協力のもと「ダナン市リエンチュウ港区開発に係る情報収集・確認調査」（2020年9月～2021年6月）に関するワークショップを開催しました。同ワークショップには、ダナン市人民委員会レ・クアン・ナム副委員長の他、研究機関、コンサルティング会社、国際機関、国内外の投資家が参加しました。

本調査は同港の効果的な運営を実現するための官民の責任・費用分担や運営モデルの検討、同港周辺の都市開発・交通ネットワーク計画等につき情報収集を行うもので、同セミナーでは調査団から調査の進捗について報告を行いました。

今後、同港開発に係る F/S がダナン市及び投資家により作成される予定であり、本調査結果がそれら計画に活用されることが期待されます。なお、JICA ベトナム事務所は6月中旬に日本企業向けセミナーを主催し、同港開発参画に関心を有する日本企業に対して事業計画の概要等について発信を行う予定です。



ベトナム労働生産性に関するワークショップを開催



JICA ベトナム事務所清水所長によるスピーチ

4月28日、JICA ベトナム事務所は、ベトナム商工会議所（VCCI）との共催で、「ベトナム生産性レポート2021年」に関するワークショップを開催しました。ベトナム側より、VCCI 会長、2021年ベトナム生産性報告書作成に取り組んだ研究チーム、政府関係者、学術関係者他、日本側より、在ベトナム日本国大使館山田滝雄大使、JICA ベトナム事務所清水所長、JETRO ハノイ事務所中島所長、オンラインで GRIPS の大野教授が参加しました。

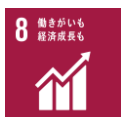
本ワークショップでは、JICA ベトナム事務所の協力のもと、ベトナム経済政策研究所（VEPR）と政策

研究大学院大学（GRIPS）が、1990年代から今日までのベトナムの生産性に関する主要な特徴とその分析、また日本の生産性向上ツールや他国の取組などを取りまとめた「ベトナム生産性レポート2021年」の発表と、今後のベトナムにおける生産性向上のための取組への提言を行いました。

第13回共産党全国代表大会でも、2021～2025年の5カ年における経済社会開発にかかる主要な指標として、労働生産性の伸び率を6.5%強を目指すとしており、本報告書がベトナム政府の経済社会開発目標の達成に貢献することも期待されています。



ワークショップの様子



新型コロナウイルスによる感染症対策支援 フエ中央病院への医療機材引渡し式を実施



左から、在ダナン領事事務所矢ヶ部義則所長、フエ中央病院 Pham Nhu Hiep (ファム・ニュー・ヒエップ) 院長、JICA ベトナム事務所田中章久次長

ベトナムにおける新型コロナウイルスによる感染症対策支援として、フエ中央病院の要請を受け、JICA は同病院に対する ECMO（人工肺）を含む医療機材 3 点の支援（総額 5 千万円相当）を実施、4 月 9 日、引き渡し式を行いました。

JICA は 1990 年代より、地域の拠点病院を中心に病院機能強化を行い、加えて同病院の研修センターを通じた地域医療人材の能力向上を図ってきました。フエ中央病院へは 2005 年から 2010 年にかけて、無償資金協力による新病棟の建設及び医療機材の供与を行うと共に、技術協力による同病院及び傘下の省病院の医療従事者 1,000 名以上に対する能力強化を実施しました。プロジェクト終了後も、ベトナム側の

自助努力によって同病院による省病院への医療技術向上に関する研修等が継続されています。

今次の新型コロナウイルス感染症の流行では、昨年 7 月、ダナン市で 99 日ぶりの市中感染が確認されると、中部地域を中心に感染が急拡大するとともに、死亡例がそれまでの 0 から 35 まで急増しました。フエ中央病院では、主に ICU 管理が必要な重症患者を受け入れる等、中心的な役割を担いましたが、地域医療のみでは対応できず、保健省の主導のもと、ハノイやホーチミンの主要病院で構成される医療チームを追加派遣する事で感染を抑え込みました。

新型コロナウイルス感染の再流行や今後の新興感染症に備えた中部地域の対応能力の強化は喫緊の課題です。フエ中央病院は中部地域の拠点病院であると共に、地域の省病院や医療従事者に対する教育・指導も担っており、本支援を通じたベトナム中部地域全体の医療サービス向上が期待されています。

JICA は引き続き、日本政府と連携し、ベトナムの医療サービス強化に取り組んでいきます。

JICA プレスリリース :

https://www.jica.go.jp/vietnam/office/information/press/ku57pq00003uemn2-att/202104_01_ja.pdf



安全な水供給への貢献

ビンズオン省浄水場の拡張整備を支援し、増加する水需要へ対応



テープカットの様子

4 月 15 日、ビンズオン省・タンヒエップ浄水場で、海外投融資「ビンズオン省上水道拡張事業」の開業式典が開催されました。

本式典には、ビンズオン省出身で元国家主席（2006～2011 年）のグエン・ミン・チュエット（Nguyen Minh Triet）氏の参加を始め、同省人民委員会や現地メディアなど総勢 200 名近くが参加しました。本事業の実施主体である Binh Duong Water Environment Joint Stock Company (BIWASE) からは、JICA 及び協調融資行であるアジア開発銀行 (ADB) に対して、繰り返し感謝の意が述べられるとともに、今後の継続的な協力に対する高い期待が寄せられました。

2020 年 11 月 17 日、JICA は BIWASE に対し、本事業を通じ、最大 800 万米ドルの融資（海外投融資）を行い、既設浄水場の拡張を支援しました。



タンヒエップ浄水場 石碑

今後、本事業により給水能力が80%増強された浄水場が有効活用され、持続的に安全な水が供給されるとともに、新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止につながり、持続可能な開発目標（SDGs）ゴールの6及び17に貢献することが期待されます。



脆弱性への対応

「フロン類等管理に関する国際的経験共有のためのワークショップ」を開催



ワークショップの様子

4月28日、ハノイにて、JICAは、天然資源環境省（MONRE）およびハノイ工科大熱冷凍工学研究所（HUST/IHERE）との共催で「気候変動緩和・オゾン層保護に係る政令案策定に向けたフルオロカーボン（フロン類等）管理に関する国際的経験共有のためのワークショップ」を開催しました。

本ワークショップは、2020年11月に改正された環境保護法に基づき予定されている「気候変動緩和・オゾン層保護に係る政令案策定（改正環境保護法91条、92条に基づくもの）」について、92条（フロン管理）に係る検討の一環で開催されたものです。これまで、高い温室効果（高GWP：global warming potential）を持つフルオロカーボン管理の規制がほとんど存在しませんでした。92条によって抜本的に規制が導入されることとなっているため、今回はすでに取組が進んでいる外国の事例を学ぶ機会として、オンラインで日本、マレーシア、オーストラリア、シンガポール等の取組みが紹介され、会場では、フロン類等管理にかかわる冷媒選択、漏洩防止、回収破壊、輸出入の登録システム等について活発な意見交換が行われました。



その他

ベトナム国立ハノイ医科大学付属病院とグランソール奈良が「オンライン診療」の提携にかかる覚書を締結



MOU 署名式（右から2番目 グランソール奈良 辻村貴弘院長）

4月16日、ベトナム国立ハノイ医科大学付属病院とグランソール奈良*が、「オンライン診療」の提携にかかる覚書を締結しました。

グランソール奈良はJICA基礎調査を通じて関係強化を図ったハノイ医科大学付属病院と提携して「オンラインを活用した診察」を導入し、来日できない患者に対し診療のアドバイスを行います。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で帰国できなくなっている在日ベトナム人に対しても、グランソール奈良が窓口となり、ハノイ医科大学付

属病院の診察をオンラインで受けられるようサポートします。

*2019年にJICAの中小企業・SDGsビジネス支援事業「ベトナム国がん治療のための医療サービスの質向上にかかる基礎調査」を実施した株式会社グランソール免疫研究所の関連施設

※中小企業・SDGsビジネス支援事業「ベトナム国がん治療のための医療サービスの質向上にかかる基礎調査」(2019年1月～2019年12月)の概要

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/981/K181037_summary.pdf



その他

共産青年同盟中央執行委員会の 「若い世代のため」記章を受章



左：JICAベトナム事務所清水所長

右：グエン・アイン・トゥアン ホーチミン共産青年同盟中央執行委員会一等書記官兼ベトナム青年国家委員会委員長兼ベトナム青年連合会会長

4月28日、JICAベトナム事務所清水所長は、これまでのJICAによるベトナム青年の人材育成への協力及び功績が評価され、共産青年同盟中央執行委員会より「若い世代のために(For the young generation)」記章を授与されました。

今回の受章は、90年代から継続しているベトナム向け若手リーダー育成プログラム(現「青年研修」)への貢献に対するものです。

同プログラムは、共産党の若手の幹部育成プログラムの一環として位置付けられており、これまで行政官約2,200名が参加し、帰国研修員の多くがベトナム政府及び行政の主要ポスト(副大臣等)で活躍するとともに、日本で学んだ知識を共有、発展させる事で、様々な形でベトナムにおける社会経済の発展と、日越間の友情強化に貢献しています。



JICAベトナム事務所では、本月報を通じて皆様との情報共有を目指しています。ご意見、ご要望は、vt_oso_rep@jica.go.jpまでお送り下さい。

Website <https://www.jica.go.jp/vietnam/index.html> (日・越・英)

Facebook <https://www.facebook.com/jicavietnam> (越)

発行：JICAベトナム事務所 広報班